



タイムトラベル③ 奈良時代を眺めてみよう

(8世紀ごろのある場面)

縄文・弥生時代 p.26~27



平安時代 p.52~53

? 次の場面を探してみよう! 次の場面は、ア~カのどれに当たるか、()に記号を入れてみよう。

- ① 農民たちが、区画分けされた田で収穫を行っています。 ()
- ② 農民の一行が、役人に連れられて荷物を運んでいます。 ()
- ③ まっすぐな広い道が、整備されています。 ()
- ④ 農民たちが、寺院の建築に取り組んでいます。 ()
- ⑤ かわら屋根の大きな建物が、完成しています。 ()
- ⑥ 僧侶が、現場の役人に助言を与えています。 ()

ヒント ①→p.42 ②→p.43 ③→p.41 ④→p.43 ⑤→p.48 ⑥→p.48

A

B

C





私たちは奈良時代に来ています。ここは都から遠く離れた東海地方のある地域です。広場で建物などの建設が進められている最中で、さまざまな人々が働いています。



見方・考え方

弥生時代から奈良時代に移り変わって、どのような点が変わっているでしょうか。また、なぜそのように変化したのでしょうか。例えば以下の点などに注目し、周りの人と話し合ってみましょう。

- ・場面ア、カのような人々の役割
- ・建築中や、場面イのような完成したばかりの建物



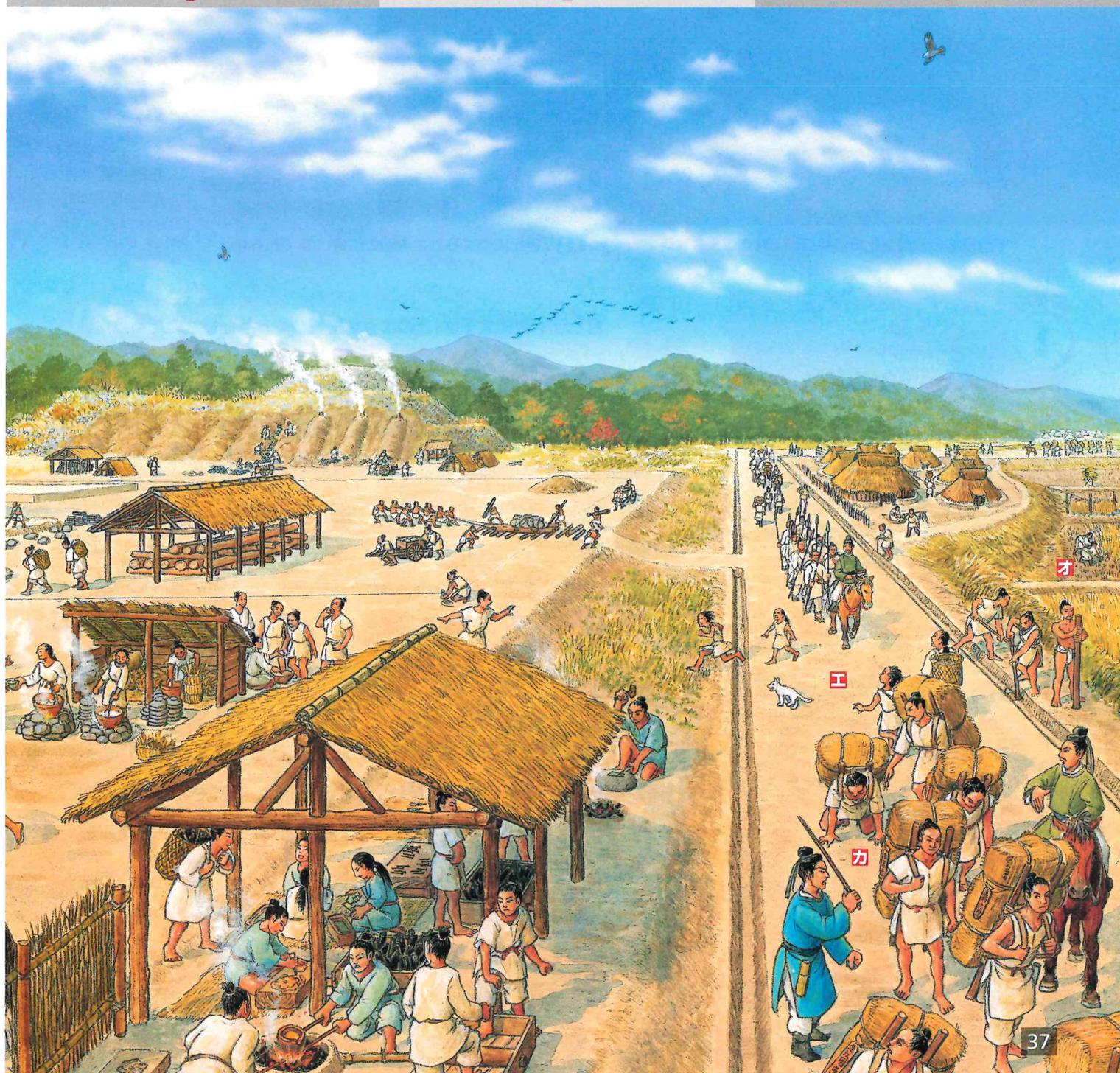
広場では、たくさんの人が働いているけれど、どこから集められたのかな。



D

E

F



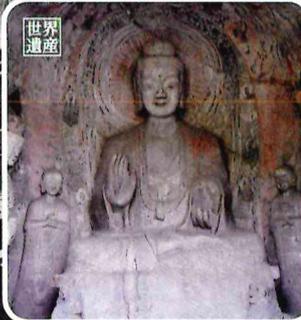


3節の問い なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。



↑1日本の飛鳥文化の仏像〔釈迦三尊像 奈良県 法隆寺蔵〕

日本の仏像が中国や朝鮮の仏像とよく似ているのは、どうしてかな。



↑25世紀につくられた中国の仏像〔中国 龍門石窟〕



↑3日本の弥勒菩薩〔京都府 廣隆寺蔵〕

↑4朝鮮半島の弥勒菩薩〔韓国 国立中央博物館蔵〕

1 ヤマト王権と 仏教伝来

解説 摂政
 おおみか てんのう じよせい ようしやう
 大王(天皇)が女性や幼少のときに政治を代わりに行う地位のことです。有力な王族が政治を担当したことを示しています。

十七条の憲法
 一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを、宗となせ。
 二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは、仏・法(仏の教え)・僧なり。
 三に曰く、詔を承りては必ず謹め。
 十五に曰く、私を背きて(個人的な欲を捨て)、公に向(公に尽くすこと)は、これ臣の道なり。
 十七に曰く、それ事(事柄)は独り断むべからず。必ず衆(人々)と与に論う(議論して決める)べし。
 【『日本書紀』より、一部要約・抜粋】

学習課題 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのだろうか。

朝鮮半島の動乱と 隋の誕生
 6世紀になると、朝鮮半島では、倭国とながりがあった加羅(伽耶)諸国が滅び、百済と新羅が勢力を強めたため、倭国は半島での影響力を失いました。

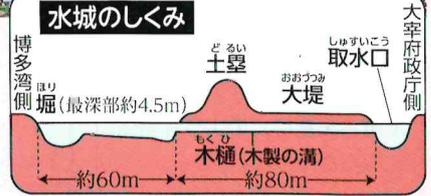
一方、南北に分かれていた中国では、6世紀末、約300年ぶりに隋が国内を統一し、大帝國をつくりました。隋は従わなかった高句麗に軍隊を送るなどしたため、東アジアの周辺諸国の間で緊張が高まりました。

蘇我氏と 聖徳太子
 そのころヤマト王権では、豪族の対立や争いが激しくなりました。そのなかで渡来人の知識と技術を利用して、勢力を大きく伸ばしたのが蘇我氏でした。6世紀半ばに、百済から仏教が伝わると、蘇我氏はその導入に努めました。また、反対する物部氏を倒して実力者となると、対立する大王を殺害し、額田部王女(後の推古天皇)を大王にしました。

大王の摂政となった聖徳太子(厩戸王)は、蘇我馬子と協力して新しい政治を行いました。太子は大王中心の政治を目指し、また中国にも認めてもらうため、国の政治を整えました。冠位十二階の制度



↑1 大宰府周辺の様子 大宰府の周りには、いくつもの防衛施設がつけられました。また、役所の周辺には、学校や寺院、役人の家が立ち並んでいました。



↑2 大野城と水城の跡 大宰府を防衛するために、直線状の堀と土塁からなる水城が築られました。また数mの高さの城郭で山を囲んだ朝鮮式の山城である大野城がつけられました。主に東国から派遣された防人(→p.43)が警備しました。



水城や大野城は、何のためにつくられたのかな。

2 揺れ動くアジアと倭国

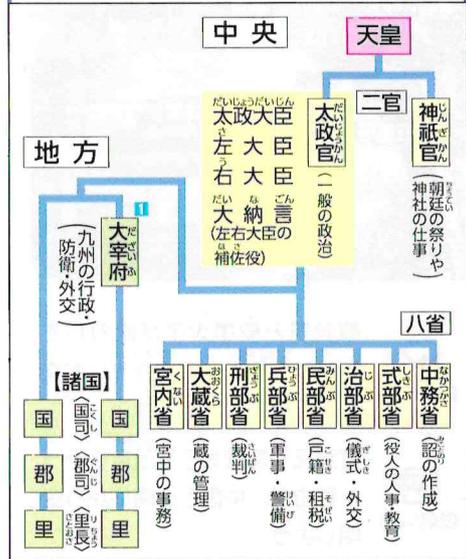
3節の問い なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。

学習課題 倭国(日本)はどのような改革を進めたのだろうか。

技能をみがく 8 しくみ図の見方

上部になるほど政治の実権を握り、下に延びる線はその支配の及ぶ機関です。

↓3 律令国家の政治のしくみ



唐の誕生と緊迫する東アジア

7世紀初め、反乱で滅んだ隋の武將が唐を建て、引き続き中国を統一しました。唐の皇帝は律令という法律で国を治め、人々に土地を割り当てて、税や労役を課しました。唐は隋と同じく、積極的に周辺諸国に兵を送って高句麗も攻撃したため、東アジア諸国の緊張はさらに高まりました。

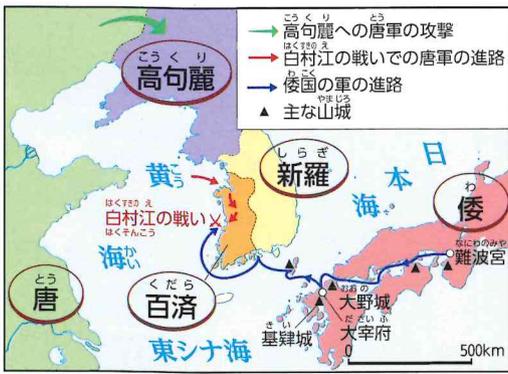
7世紀初め、反乱で滅んだ隋の武將が唐を建て、引き続き中国を統一しました。唐の皇帝は律令という法律で国を治め、人々に土地を割り当てて、税や労役を課しました。唐は隋と同じく、積極的に周辺諸国に兵を送って高句麗も攻撃したため、東アジア諸国の緊張はさらに高まりました。

天皇を中心とする国づくり

聖徳太子の死後、蘇我氏が一層力を強め、権力を独占していました。海外情勢の変化により、倭国は国家のしくみを整える必要があったので、中大兄皇子(後の天智天皇)は、中臣鎌足(後の藤原鎌足)らと図り、645年、蘇我蝦夷・入鹿を倒して政治改革に着手しました。「大化」の元号が初めて使われたとされるので、この改革を大化の改新とよびます。しかしその改革の実現には、このあと50年ほどかかりました。

聖徳太子の死後、蘇我氏が一層力を強め、権力を独占していました。海外情勢の変化により、倭国は国家のしくみを整える必要があったので、中大兄皇子(後の天智天皇)は、中臣鎌足(後の藤原鎌足)らと図り、645年、蘇我蝦夷・入鹿を倒して政治改革に着手しました。「大化」の元号が初めて使われたとされるので、この改革を大化の改新とよびます。しかしその改革の実現には、このあと50年ほどかかりました。

朝鮮半島では、唐が新羅と結んで百済を攻めたので、倭国は百済を支援するため大軍を送り、唐・新羅の連合軍と戦いました。しかし663年、倭国の軍は白村江で大敗し(白村江の戦い)、朝鮮半島から退きました。その後、朝鮮半島は新羅によって統一されました。倭国は、唐・新羅が攻めてくるのに備えて守りを固めるために、九



↑4 7世紀の東アジア 地図帳活用

解説 **天皇**

天武天皇のころ、国内の政治のしくみが整えられるなかで、君主の称号が「大王」から「天皇」に改められました。ただし、推古天皇(→p.38)から天皇という称号が使われたという説もあります。



↑5 藤原京 儒教(→p.21)の經典に書かれた王宮の考えに基づいてつくられました。宮都は役人たちが居住する約5km四方にもなる大規模なものでした。〔復元模型 奈良県 橿原市提供〕

州地方の政治や防衛にあたる大宰府を設け、西日本の各地に山城をつくりました。また、日本列島に逃れた百済の人々の知識や技術を取り入れながら、国づくりを進めました。そして初めて全国の戸籍をつくるなど、本格的な国内の改革に取りかかりました。

5 672年、天智天皇の跡継ぎをめぐる戦い(壬申の乱)が起きました。これに勝利した天武天皇は、皇帝が国家を支配する唐にならい、天皇の力を高めることに努めました。律令や歴史書をまとめるよう命じ、天皇を中心とする強い国づくりを進めました。天武天皇の死後、皇后の持統天皇が即位し、日本で初めての本格的な都、藤原京がつくられました。また、7世紀から9世紀には、唐から政治のしくみや進んだ文化を取り入れるため、遣唐使が派遣されました。

律令政治の始まり

701(大宝元年)年、律と令に基づいて国を治める律令国家のしくみを定めた大宝律令がつくられました。

これにより、天皇を頂点とし、太政官が政策を決め、その下にある八つの省が実施するしくみが定められました。また、印を押した文書により命令するという、現代の役所まで受け継がれる方式が始まりました。この中央政府を朝廷といいます。地方は国・郡・里に分けられ、中央から派遣された国司が、郡司に任命された地方豪族や里長を監督しました。都と地方を結ぶ道路では馬が利用され、駅が置かれました。こうして、豪族が各地を支配するしくみが改められ、全国を統一して支配するしくみ(中央集権)が整備されました。



↑6 都の移動 都は、天皇中心の政治の実現のため、豪族の本拠地から離れ、また人口が増えて需要が高まる米の安定的確保のため、より交通の便のよい場所へと移りました。

- ① 律は刑罰のきまり、令は政治のきまりのことです。
- ② 大宝律令では、正式な国の名前が、これまでの「倭」から「日本」へと改められました。
- ③ 現在の鉄道の駅ではなく、馬を備えた宿泊施設のことで、道に一定の間隔で置かれました。

確認しよう 律令国家のしくみを本文から書き出そう。

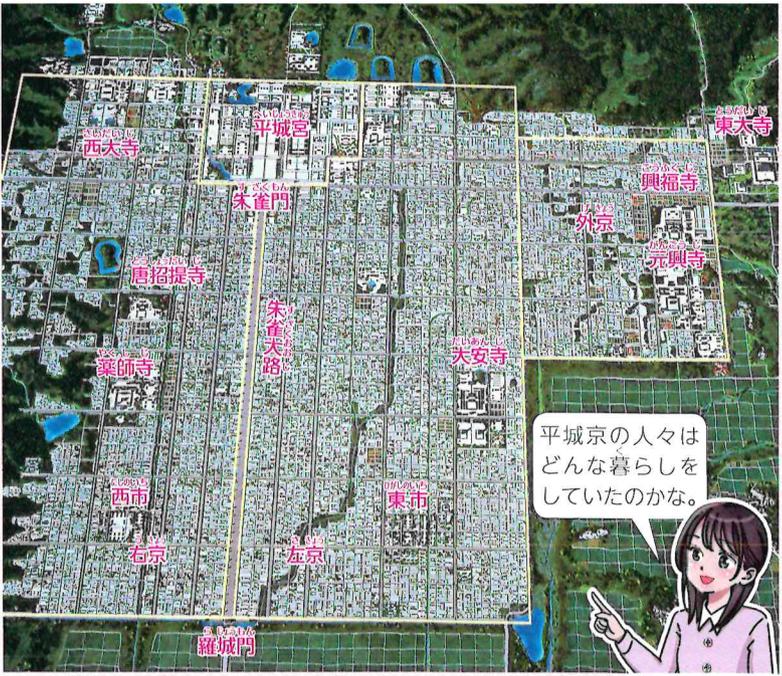
説明しよう 倭国(日本)の目指した国づくりを、大宝律令の特色を踏まえて説明しよう。

1	總文
2	弥生
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	安
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・桃山
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
22	平成
23	令和



↑1 奈良時代の貴族の衣装の再現 (奈良市、平城宮跡、2017年撮影)

←2 貴族の宴会のときの食事 [伝承料理研究家 奥村彪生 制作 奈良文化財研究所提供]



平城京の人々はどんな暮らしをしていたのかな。

↑3 平城京 碁盤目状に土地を区画していました。東西は外京を含め約6.3km、南北は約5.2kmありました。[復元模型 奈良市役所蔵] 小地公

3 律令国家での暮らし

3節の問い なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。



↑4 富本銭(左)と和同開珎(右) 富本銭に続き和同開珎が作られました。本格的に物と交換できるお金として使用されました。

- ① 6歳以上の男子は2段(約2300㎡)、同じく女子はその3分の2が口分田として与えられました。また、死亡したときは国へ返さなければなりません。
- ② 賤民のうち、特に奴婢は、主人の財産として、売買されました。



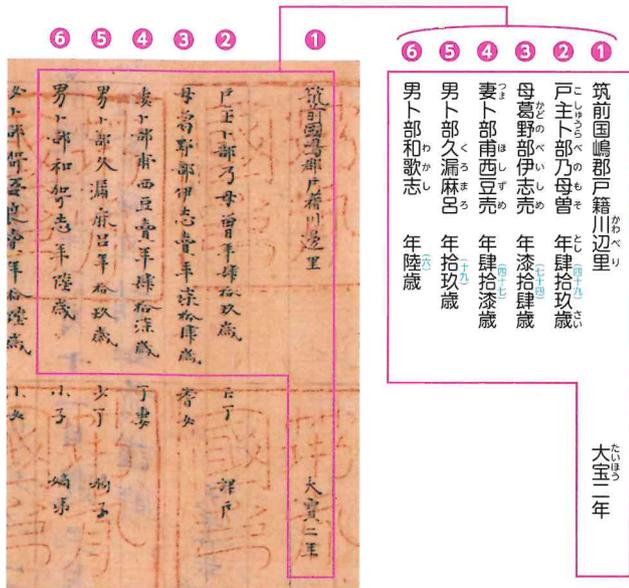
←6 庶民の食事 [伝承料理研究家 奥村彪生 制作 奈良文化財研究所提供]

学習課題 奈良時代の土地と税の制度にはどのような特色があったのだろうか。

新しい都 平城京 710(和銅3)年、都が平城京(現在の奈良市)に移されました。天皇の力を示し、高い地位をもつ豪族(貴族)を役人として住まわせるため、大規模な都が必要となったからです。都づくりには全国から多くの作業員が集められ、お金を発行して建設の費用としました。平城京を中心に政治が行われた約80年間を奈良時代といいます。

平城京は唐の都、長安を手本につくられました。北の中央にある平城宮には、天皇が住む内裏と政治を行う役所が置かれ、各地から都に送られてきた産物を売買するために、東西の市も開かれました。都には約10万人が住み、貴族の邸宅や大寺院が建てられました。

農民の暮らし 未開地が多く、農業の生産力が低いこの時代には、多くの人間を集めて土地を耕作させることが必要でした。そこで朝廷は、人々(公民)に土地(公地)を与える制度である班田收授法を定めました。この制度では、6年ごとに作成される戸籍に基づき、家族ごとに口分田という土地が与えられ、その土地を与えられた農民に税がかけられました。人々は、良民と賤民に分けられ、良民の大多数は、口分田を耕作する農民でした。



- 1 筑前国嶋郡戸籍川辺里
- 2 戸主 下乃母 年肆拾玖歳
- 3 母 野部伊志売 年肆拾肆歳
- 4 妻 下乃母西豆売 年肆拾歳
- 5 男 下乃母久漏麻呂 年拾玖歳
- 6 男 下乃母和歌志 年陸歳

大宝二年

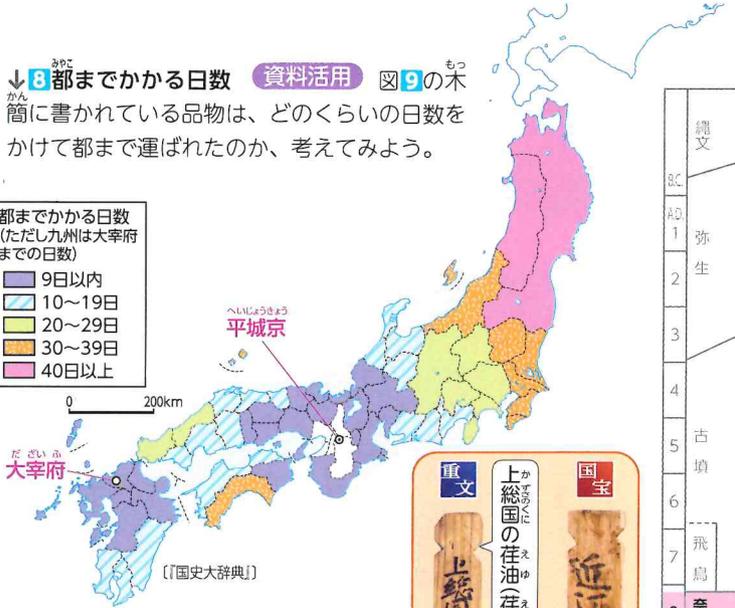
↑7 筑前国嶋郡(福岡県)の戸籍 戸籍には、一人一人の姓名や性別、年齢が記され、30年間保存されました。〔正倉院宝物〕

税は唐の制度にならい、**租・調・庸**からなっていました。租は稲の収穫の約3%を納めるもので、重い負担ではありませんでしたが、成人男性にかかる**調(特産物)**と**庸(布)**は、自分たちで都まで運ばなければならず、その負担は大変重いものでした。そのほか、国の守りに就く**兵役**や、都や寺院の建設、地方での土木工事といった**労役**などが課され、農民に種もみを貸しつけ、高い利息をとる**出挙**もありました。こうした負担から逃れるため、戸籍の性別や年齢を偽る人や、居住地から逃亡する家族が出てきました。

進む開墾 朝廷は新田の開発を進め、また農村では鉄製の農具が有力者に広まったことで、稲の収穫量は増えていきました。しかし、人口が増え、日照りや洪水などの自然災害により耕作できない田も出てくると、口分田が不足してきました。そこで、朝廷は開墾をより奨励するために、743年に**墾田永年私財法**を定めて、新たな開墾地であればいつまでも自分のものにしてよいと認めました。中国の制度である律令は、そのままでは日本の社会とずれが生じたため、墾田永年私財法のように、それを修正・補足する新しい法がしばしば出され、実態に合わせる努力がなされました。

これ以後、貴族や寺社は国司や郡司らの協力により開墾に力を入れて、私有地を独占するようになり、その土地は**荘園**とよばれるようになりました。

↓8 都までかかる日数 資料活用 図9の木簡に書かれている品物は、どのくらいの日数をかけて都まで運ばれたのか、考えてみよう。



→9 平城京跡から出土した木簡 各地方からもたらされる特産物を、役人が木簡に記録しました。(→p.37F3)



↓10 成人した農民の負担 小地公

物納税	租	稲の収穫の約3%を納める
	調	絹や魚などの特産物を納める
	庸	労役の代わりに麻の布を約8m納める
労働税	雑徭	国司の下で1年に60日以内の労役
	兵役	衛士(都の警備): 1年間 防人(北九州警備): 3年間

防人の歌 万葉がな
可良古呂武 須宗尔等里都伎
奈古古良乎 意伎写善伎怒也
意母奈之尔志豆
唐衣裾に取りつぎ泣く子らを置きてそ来ぬや母なしにして衣の裾に取りついて泣く子どもたちを置いてきてしまった。私の子どもには母親もいないのに。
〔万葉集より〕

✓ 確認しよう 奈良時代の初め、人々がどのような税を負担したのか、本文から五つ書き出そう。

🗨️ 説明しよう 班田収授法から墾田永年私財法へ移った背景と、社会に与えた影響を説明しよう。

縄文
弥生
古墳
飛鳥
8 奈良
9 平安
10 鎌倉
11 南北朝
12 室町
13 戦国
14 安土・桃山
15 江戸
16 明治
17 大正
18 昭和
19 平成
20 令和

8世紀ごろの世界

やってみよう

1. 地図のなかから、下に挙げたA～Cを探してみよう。また、その人々がどの宗教を信仰しているか、考えてみよう。



- A. 皇帝に冠を授ける教皇 ヒント→p.106
- B. メッカに向かって礼拝する人 ヒント→p.25
- C. 海を渡る僧侶 ヒント→p.48

2. 見方・考え方

地図のなかから、このコップをつくっている人と、コップを持つ人を合わせて3人以上探して、ペルシャから日本まで地図をたどってみよう。

→1 瑠璃杯 西アジアのペルシャでつくられたといわれています。
[正倉院宝物]

小地公



(全高11.2cm)



コップは日本に来るまでどのような人々を経由してきたのかな。



↑2 8世紀ごろ(奈良時代のころ)の世界 世界とのつながり

4

大陸の影響を受けた天平文化

3節の問い なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。



学習課題

奈良時代には、どのような特色をもった文化が展開したのだろうか。

唐中心の国際関係と栄える東西交流

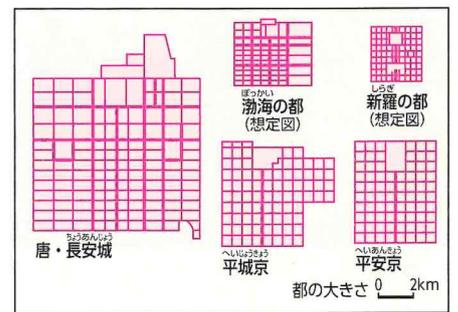
日本の国づくりに際しては、唐を手本とするため、7世紀以降、盛んに遣唐使が派遣されました。同じく、東アジアの各国も唐を訪れて、大陸の東側に大帝国を築いた唐の政治のしくみや進んだ文化を学びとるようになりました。こうして8世紀の東アジアでは、唐を中心とした国際



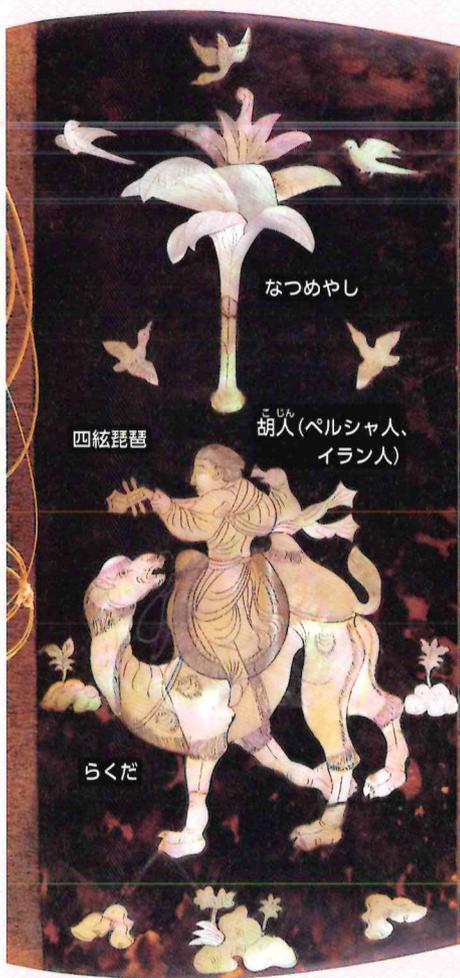
縄文
1 弥生
2
3
4
5 古墳
6
7 飛鳥
8 奈良
9
10 平安
11
12
13 鎌倉
14 南北朝
15 室町
16 戦国
17 安土・松山
18 江戸
19 明治
20 大正
21 昭和
平成
令和

関係が安定するなかで、漢字を通じた共通の文化が広がりました。
p.50B3

さらに8世紀には、大陸の西側でイスラム教徒の王朝が大帝国を築き、唐とも接するようになりました。p.25 貿易が盛んな都市で生まれたイスラム教を信じる商人は、砂漠や海で長い距離を移動するための知識や技術にたけ、唐にも訪れたほか、分裂したローマ帝国とも貿易しました。p.51F3 そのため、ユーラシア大陸を東西に文物が行き交い、東の長安と西のバグダッドが国際都市として栄えました。p.23



↑唐と各国の都の比較



なつめやし

四絃琵琶

胡人(ペルシャ人、イラン人)

らくだ



重文



↑4シルクロード上にあった都市で発見された女性像(左)【『樹下美人図』静岡県MOA美術館蔵】と5正倉院の女性像(右)【『鳥毛立女屏風』正倉院宝物】

←6螺鈿紫檀五絃琵琶の拡大図と↓7全体像 正倉院の宝物の一つです。現存する世界で唯一の五絃琵琶です。【正倉院宝物】



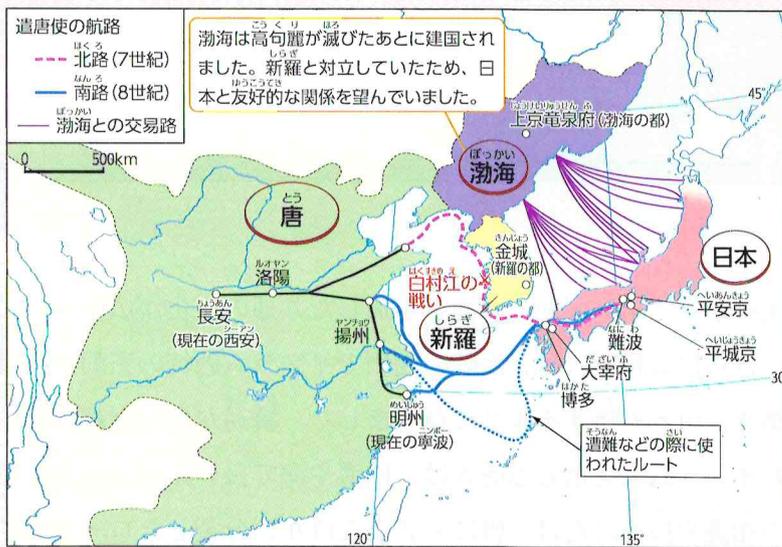
(全長108.1cm)

資料活用 この琵琶に描かれているものから、どこの地域の光景と考えられるだろうか。

正倉院の宝物が語る大陸との交流



↑8遣唐使船(復元) 4隻で編成され、1隻につき100人が乗船し、約20年に一度の割合で20回ほど派遣されました。【全長25m、幅7m、高さ17m 広島市】



↑9遣唐使の航路 遣唐使とともに、多くの留学生が唐へ派遣され、阿倍仲麻呂のように、唐で活躍する者もいました。一方、新羅と渤海とも外交や交易による交流がありました。

奈良時代の聖武天皇の時代には、天然痘と考えられる疫病が大流行しました。種もみの強制貸しつけ制度(出挙)により、返済できなかった人々の割合から推測すれば、当時の総人口の2割から3割が感染により死亡したと考えられます。疫病は、九州から全国に広がり、平城京でも感染者が大量に発生しました。朝廷の政務も中止され、政権を担当していた藤原不比等の子たちも全員が感染により死亡しました。外国から帰国した新羅への使節または遣唐使が感染源である可能性が高いとされています。当時、災害や疫病などの異変は政治を行う者の責任とする考えがあり、天然痘の流行などに責任を感じた聖武天皇は仏教を信じる気持ちを強くして、日本各地に国分寺を建立させ、大仏の造立と東大寺の建立を命じました。 **小地公**



↑10 東大寺の大仏 大仏は長もちするよう、重さ約500トンの銅を用いてつくられました。造立した当時は高さ16mともいわれています。



↑10 大仏殿での法要(奈良県 東大寺、1980年)

大仏造立の詔

天平15年10月15日をもって、盧舎那仏の金銅像一体をおつくりすることとする。國中の銅を使って像を鑄造し、大きな山を削って仏殿を建てなさい。…
…天下の富をもつ者は私であり、天下の勢いをもつ者も私である。この富と勢いをもって仏像をつくることは困難ではないであろうが、それは発願の趣旨にそぐわない。…もし一枝の草や一握りの土でもって仏像をつくることに協力を願う者があれば、許し受け入れなさい。

〔続日本紀〕より、一部要約

天皇・貴族による 国際色豊かな文化

奈良時代、律令体制の下で役人となった貴族が、都に集まって住むようになったことで、

平城京を中心に、天皇や貴族による華やかな文化が栄えました。この文化は、遣唐使などによって中国からもたらされた国際的な文化の影響が強く、聖武天皇の時代に最も栄えたため、当時の元号(天平)から**天平文化**とよばれます。

正倉院に伝わる聖武天皇の身の回りの品々には、唐や朝鮮半島のものだけではなく、インドや西アジアなどへ通じる道(シルクロード)を通して、唐へもたらされた品やその文化の影響を受けた品も

みられます。

聖武天皇と 仏教

渡来人が伝えた仏教は、奈良時代半ばまでは興福寺を建てた藤原氏など一部の貴族のみが信仰しており、

民衆に浸透していたわけではありませんでした。これが全国に広まるきっかけとなったのが、聖武天皇が行った政策にあります。

当時、全国的な伝染病の流行としばしば起こる飢きんに人々は苦し

歴史 プラス

古代のタイムカプセル、 正倉院

奈良・平安時代には、役所や寺院に重要な品を納める正倉が設けられました。この正倉が集まっている区画は正倉院とよばれました。現在唯一残っている奈良の正倉院正倉は、756年ごろに建設され、木材を組み上げた校倉造でつくられました。聖武天皇が使用した日常品や開眼供養の儀式で使用したものを、光明皇后が東大寺に寄進しました。



←12 校倉造

↓13 正倉院正倉 **小地公**



8C	縄文
8D	弥生
9	古墳
10	飛鳥
11	奈良
12	平安
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・徳川
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
22	平成
23	令和



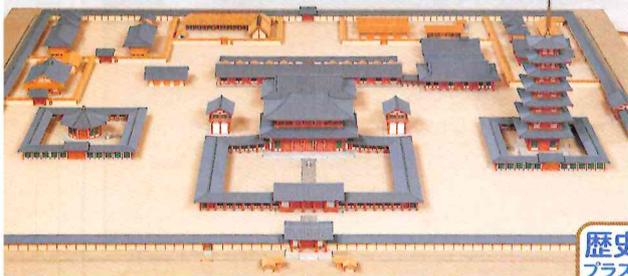
国宝



国宝

←↑14興福寺阿修羅像 阿修羅はインドでは戦闘を好む悪の太陽神でしたが、仏教に取り入れられてから、シャカ(釈迦)の守護神とされるようになりました。[奈良県 飛鳥園提供]

↑15薬師寺吉祥天女画像 奈良時代には仏画も盛んに描かれました。吉祥天は左手に望みをかなえてくれる赤い玉(如意宝珠)を持っています。[奈良県 薬師寺蔵 奈良国立博物館提供 森村欣司氏撮影]



↑16陸奥国の国分寺(復元、仙台市) 七重塔が建てられたのが特徴です。国分寺は聖武天皇の詔によって、60程度の国でつくられたといわれています。[千葉県 国立歴史民俗博物館蔵] 小地公

歴史プラス+ 時代とともに変わっていった衣服

縄文時代の衣服は、土器の表面に繊維による文様があることから織物の存在が確認され、土偶からは寒さに耐えられる服装であったことが分かります。弥生時代は、「魏志」倭人伝の記述や銅鐸の人物表現によれば、麻でできた一枚の広い布の中央に穴を開けて頭を出す貫頭衣でした。5世紀には渡来人により絹がもたらされ、人物埴輪によれば、男女の衣服にはズボンやスカートのような区別ができました。奈良時代になると、中国の衣服の制度が取り入れられ(→p.50C3)、身分による違いが生まれました。



↑17弥生時代の服装(左)と18奈良時代の貴族の礼服(右)[京都府 風俗博物館蔵]

鑑真 688~763

日本からの依頼に命懸けで応えた僧侶

唐の僧侶である鑑真は、弟子を日本に派遣しようとしたが、当時日本への渡航は大変危険であったため、名乗り出る者が誰もおらず、みずから日本へ渡航することを決意しました。たび重なる渡航の失敗によって失明しても、強い意志をもち続け、およそ10年かけて、ようやくその願いをかなえました。日本に正式な戒律(修行のきまりごと)を授け、後に唐招提寺を開きました。[唐招提寺蔵 奈良国立博物館提供]



国宝

み、人口も減っていきました。こうしたなか、聖武天皇と妻の光明皇后は、政治の力や古くからの神への信仰だけでは災いを防げないと考え、仏教の力で国を守り、不安を取り除こうとしました。そこで、行基など、仏教の教えに基づいて橋やため池などをつくり民衆の信頼を得ていた僧侶たちの協力を得て、都に東大寺を建て、地方には国ごとに国分寺と国分尼寺をつくりました。東大寺の大仏はそのシンボルとしてつくられました。大仏完成時には、中国など多くの国々の僧侶が参加し、唐や高句麗、ベトナムなどの音楽が演奏さ

『古事記』や『日本書紀』に書かれた出雲西部を舞台とするヤマタノオロチ伝説は、頻発した土石流などの洪水や水害が背景にあると考えられます。保水力が著しく低下した山地に豪雨が降れば、土壌は大量の水を含み巨大な岩石をも巻き込んで、周囲を削りとりながら流れ落ちていきます。出雲の斐伊川はたびたび洪水を起こして、民を苦しめていました。いくつもの分かれて下る土石流は、人々に八つの頭と八つの尾をもった巨大な大蛇にたとえられたと考えられます。また、物語のなかで生贄にされそうになったクシナダヒメ(奇稲田姫)は、洪水により被害にあった「稲田」を象徴するとも考えられます。このような神話は、現在でも神事や神楽などに受け継がれています。



↑19石見神楽(島根県 浜田市) ヤマタノオロチの演目が演じられている場面です。[浜田石見神楽社中連絡協議会所有]



→20『日本書紀』 中国の歴史書にならって、漢文で書かれました。歴史の始まりは、神話として語られています。[京都国立博物館]

ヤマタノオロチの神話

アマテラスの弟サノオノミコトは、出雲国において、八つの頭と尾をもつヤマタノオロチに、いけにえとして食べられそうになった姫を救うことに成功しました。のちに二人は結婚しました。

れました。また、唐から招かれた鑑真によって唐招提寺がつくられ、寺院や僧の制度も整えられました。寺院や僧侶は、仏教で国家を守ることを義務づけられる一方で、税や刑罰が免除されるなど、国家の保護を受けるようになって力をつけ、今に伝わる仏像や建物などをつくりました。

地方に多くの寺院がつくられたことで、仏教はしだいに広まっていきましたが、寺院建設は民衆の新たな負担にもなりました。

文字の普及と歴史書

奈良時代初め、律令制の導入によって国のしくみが整ってくると、貴族や僧侶の間で文字を使う

ことが当たり前になりました。天皇が日本を治めることの正統性を明らかにしようとする動きも起こり、天皇家の由来を説明するための歴史書として『古事記』や『日本書紀』がつくられ、数々の神話がそこへ記されました。また、天皇が支配するすべての土地の地理的な情報を集めるため、産物や地名の由来、伝承などを国ごとにまとめた『風土記』もつくられました。

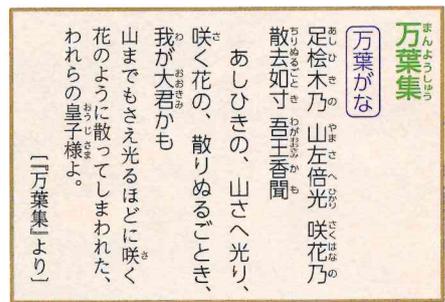
一方、都に住む天皇や貴族の間では、文字を使って歌をよむことが教養として重視されました。大伴家持がまとめたとされる『万葉集』には、日本語の音を漢字で表す万葉がながが使われ、柿本人麻呂や山上憶良などの歌人や農民、防人がつくった和歌も収められました。

国生みの神話

日本 二人の神、イザナギとイザナミは結婚して、八つの島々(日本)を生みました。

ハワイ諸島 天神ワケアはパパ女神と結婚し、ハワイ島と Maui 島を生みました。

↑21日本と似ている外国の神話の例 ほかの国の古代の人々と共通する考え方をうかがい知ることができます。



確認しよう
 天平文化の代表的な文化遺産と書物を、本文や図から書き出そう。

説明しよう
 天平文化の特色を、大陸との関わりと仏教の展開から説明しよう。

1	弥生
2	
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・織田
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
	平成
	令和



市場の様子からつながりを考えよう

私たちは、唐の都 長安、そのなかでもとてもにぎやかな市場に来ています。このころの日本は奈良時代で、市場の様子からも、日本に影響を与えたものを見ることができます。この絵のなかにも、日本とのつながりが分かるものがたくさん隠れています。

主な関連事項と関連ページ

唐の成立と遣唐使の派遣…p.40～41

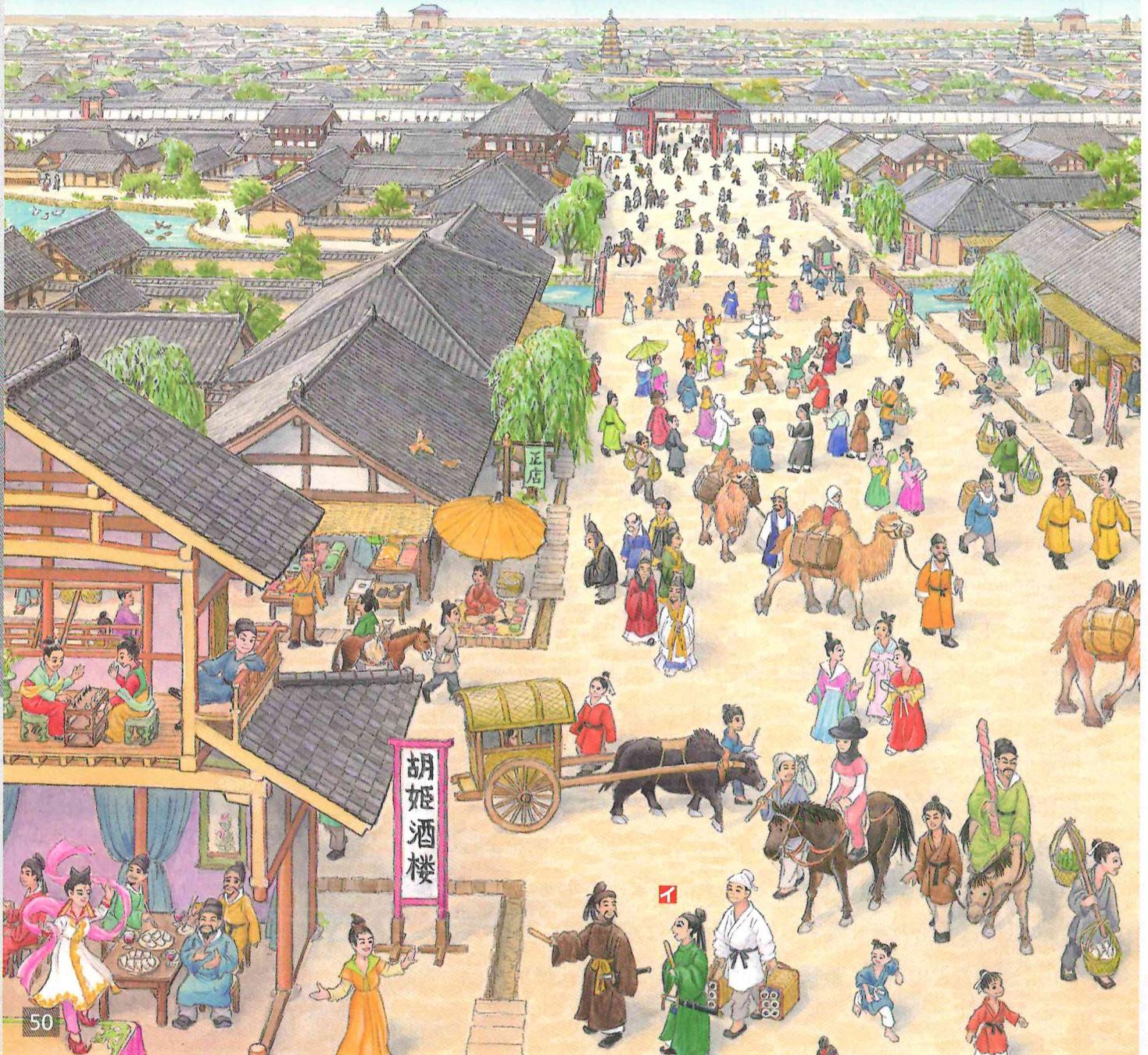
平城京の建設…p.42

大陸の影響を受けた天平文化…p.44～49

A

B

C



1

2

3

1

? 次の場面を探してみよう!

次の場面は、ア～フのどれに当たるか、()
に記号を入れてみよう。

- ① 日本から来た遣唐使が、通りの様子におどろいています。() **ヒント** 窓 → p.41
- ② 西方から来た商品が売られています。() **ヒント** 窓 → p.44
- ③ 暮盤目状の町の向こうに皇帝のいる宮殿がみえます。() **ヒント** 窓 → p.45



**見方・
考え方**

そうご **相互の関連** を考えよう

対話

絵のなかから、日本と同じもの、日本と関連が深いもの、日本に影響を与えたと思うものは何かがあるか、見つけたものを周りの人と話し合ってみましょう。その際、見つけるにあたって参考になった教科書の資料や本文の記述も、その根拠として示しましょう。

B3 看板があるね。
どんな文字が使われているかな。



D

E

F

